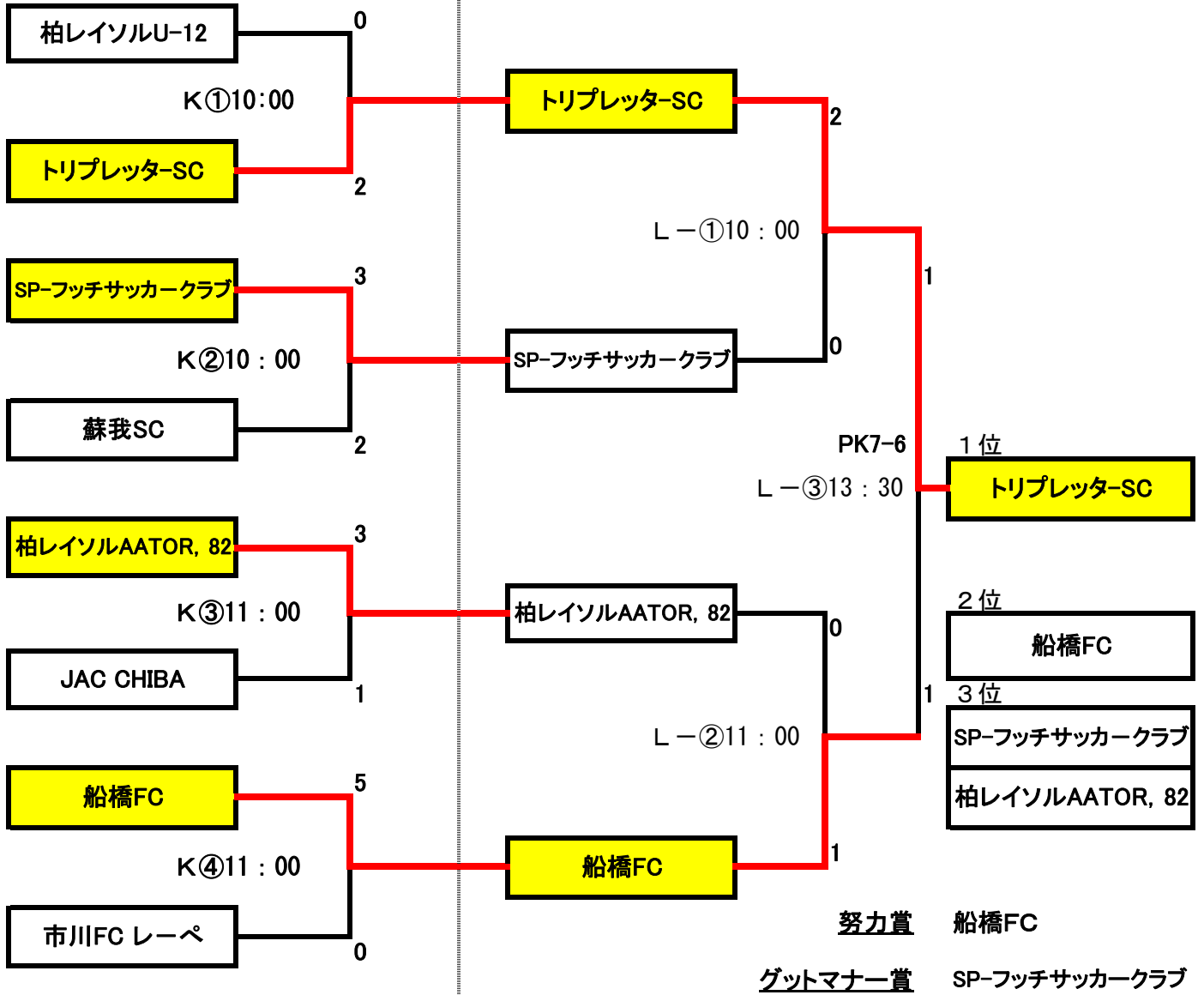


第40回全日本少年サッカー大会千葉県大会ベスト8結果

ベスト8
11月13日
日立柏総合運動場（人工芝）

ベスト4
11月20日
白井市陸上競技場



優勝選手賞

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 松田 優太 (JSC HIBA) | 袴田 翔太 (船橋FC) |
| 土岐 泰人 (市川FCレーベ) | 大迫 祥梧 (船橋FC) |
| 大久保 帆人 (柏レイソルU-12) | 大塚 勇斗 (船橋FC) |
| 二之宮 遥人 (蘇我FC) | 大我 祥平 (船橋FC) |
| 瀧澤 一心 (SP-フッチサッカークラブ) | 野口 倅太郎 (トリプレッタSC) |
| 岩田 隼人 (SP-フッチサッカークラブ) | 守興 生久志 (トリプレッタSC) |
| 寺村 啓志 (柏レイソルA.A.TOR'82) | 高橋 奏磨 (トリプレッタSC) |
| 西村 龍留 (柏レイソルA.A.TOR'82) | 石井 宏樹 (トリプレッタSC) |
- 以上16名

第40回全日本少年サッカー大会千葉県大会決勝戦評

トリプレッタSC 1-1 船橋FC

PK 7-6

(1-0)

(0-1)

(0-0)

(0-0)

準々決勝で昨年度優勝チームの柏レイソルU-12を破り、その勢いまま初の決勝戦へ駒を進めたトリプレッタSCと、伝統の堅い守りでここまで順調に勝ち上り7年ぶりの全国大会出場を狙う古豪船橋FC。

秋晴れの素晴らしいピッチコンディションの中、白井陸上競技場に多くの観客が見守る中トリプレッタSCのキックオフでゲームはスタートした。前半はお互いに相手の状況を見ながらのパス回しと、堅い守備デフェンスで両チームとも決定機なく前半終了かと思われた18分、トリプレッタSCは9番守興君の個人技から13番萩原君へ繋ぎ見事先制点をあげた。

後半開始早々、前半は堅く試合を運んだ船橋FCは、セットプレーからチャンスを掴みながら徐々に押し込む展開。両チームの激しい攻防が続く中で36分、船橋FCは守りから反転、5番大迫君からのパスを11番大我君が相手DFをかわしシュート。待望の同点に追いついた。

その後5分ハーフ10分の延長戦でもお互い決定的なシュートを放すが両チームGK、トリプレッタSC1番石井君、船橋FC1番河原君のナイスセーブもあり得点できずPK戦へ突入。互いに6番目まで成功という緊張感の中、先蹴り船橋FCがGKに攻守され、最後は全員が決めたトリプレッタSCが40回の節目の年に歓喜の初優勝を成し遂げた。

試合終了直後、勝利したトリプレッタSC選手は閉会式準備のためベンチの後片付け等自ら行っていた姿はサッカーだけではない指導を日常から行っているクラブの方針に感銘を受けた。千葉県代表として全国大会出場を決めたトリプレッタSCの活躍を心から期待したい。

(文責：千葉県サッカー協会四種委員会千葉県U-12 和 田 治)